

耳鳴りタイプ

中医学では、耳鳴りの原因はいくつかあると考えます。

一番多そうな耳鳴りタイプは腎精不足です。耳鳴りに併せて、

難聴、めまい、足腰の弱り、手足のほてりやだるさ、頻尿などが気になるのが特徴で、このタイプは、耳鳴丸(じめいがん)や杞菊地黄丸(こぎくじおうがん)で腎精を補いながら根本的に改善してゆきます。

かんと(う)を使用します。

発熱時の耳鳴りは風熱のいたずらで、銀翹散(ぎんぎょうさん)や涼解薬(りょうかいやく)がおすすめです。

また、イライラや目の充血があり、生理前やストレスによる耳鳴りなら肝気(かんき)が原因なので、竜胆瀉肝湯(りゅうたんしゃかんと)や加味逍遙散(かみしょうようさん)がおすすめです。



<第四十七話>

胸がモヤモヤ、ため息、痰が多く、気分もすつきりしないような耳鳴りは、痰湿(たんじつ)が原因と考え、温胆湯(うんたんとう)や、寒飲(かんとく)の場合は蒼桂朮(そうけいじやく)甘湯(かんとう)がおすすめです。

タイプにあつた漢方を服用することが

温胆湯(うんたんとう)や、寒飲(かんとく)の場合は蒼桂朮(そうけいじやく)甘湯(かんとう)がおすすめです。

◆飯島仁生堂薬局本店
足立区千住1-29-2
☎03-881-2273
<http://www.jinseido.co.jp>